特別名勝・特別史跡

浜離宮恩賜庭園

Hama-rikyu Gardens

江戸の潮風そよぐ浜御殿

三百年の松

300-year Pine

およそ３００年前の宝永６年（１７０９）６代将軍徳川家宣が、この庭園を大改修した（その時から「浜御殿」と改称された）ときに植えられたと伝えられており、その偉業を表現するような雄姿は昔時をしのばせるもので、都内では最大級の黒松であります。

The pine is named "300-year Pine" because it was planted in 1709, about 300 years ago, when the sixth shogun, Ienobu greatly repaired the garden. Its majestic form, praising the great work, is reminiscent of the old days. It is one of the largest black pines in Tokyo.

徳川将軍家の庭園

海水を引き入れた潮入の池と、二つの鴨場を伝え、江戸時代には、江戸城の「出城」としての機能を果たしていた徳川将軍家の庭園です。承応3(1654)年、徳川将軍家の鷹狩場に、四代将軍家綱の弟で甲府宰相の松平綱重が、海を埋め立てて甲府浜屋敷と呼ばれる別邸を建てました。その後、綱重の子、綱豊(家宣)が六代将軍になったのを契機に、この屋敷は将軍家の別邸となり、「浜御殿」と呼ばれるようになりました。以来、歴代将軍によって幾度かの造園と改修工事が行われ、十一代将軍家斉の時代にほぼ現在の姿の庭園が完成しました。

明治維新ののちは皇室の離宮となり、名称を「浜離宮」と変えました。関東大震災や戦災によって、御茶屋など数々の建造物や樹木が損傷し、往時の面影はなくなりましたが、昭和20(1945)年11月3日、東京都に下賜され、整備ののちに昭和21(1946)年4月から「浜離宮恩賜庭園」として公開されました。その後、昭和27(1952)年11月22日に「旧浜離宮庭園」(文化財指定名称)として国の特別名勝及び特別史跡に指定されました。

潮入の池

海水を引き入れ、潮の干満によって池の趣を変える様式、都内にある江戸の庭園では唯一現存する海水の池です。東京湾の水位の干満に従って水門を開閉し、池の水の出入りを調整しています。池にはボラをはじめ、セイゴ、ハゼ、ウナギなどの海水魚が棲息しています。

水面に鳥も遊ぶ都心のオアシス

年中野鳥が生息し、都心のオアシスの風情があふれています。

新樋の口山

東京湾に面した水門近くの山。レインボーブリッジやお台場など臨海副都心を一望できます。

将軍お上がり場

将軍が船に乗降する所でした。昭和24(1949)年のキティ台風で階段の一部が崩れて海中に沈みました。

水上バス発着場

「浅草」「両国」「お台場海浜公園」、及び「葛西臨海公園」等への発着場です。隅田川に架かる個性豊かな橋を楽しむこともできます。

中島の御茶屋

潮入の池と中島の御茶屋

宝永4(1707)年に造られて以来、将軍をはじめ奥方、公家たちがここで庭園の見晴らしを眺望した休憩所。現在の建物は、昭和58(1983)年に再建したものです。ここでは抹茶、和菓子セット(有料)をお楽しみいただけます。

ボタン園とお花畑

ボタン園では春には色とりどりのボタン、お花畑では、春は「ナノハナ」、秋には「コスモス」が美しく咲き誇ります。

松の御茶屋・燕の御茶屋

11代将軍家斉の時代に建てられ、戦災で焼失しましたが、残された礎石などの遺構を調査し、平成22(2010)年に松の御茶屋が、平成27(2015)年に燕の御茶屋が復元されました。史料に忠実な建築により、往時をしのばせる景色がよみがえりました。

松の御茶屋

燕の御茶屋

お伝い橋

潮入の池の岸から小の字島と中島を結ぶ延長118mもある総檜造りの橋で、平成24(2012)年に改修しました。

鴨場

庚申堂鴨場と新銭座鴨場の二つがあります。築造は、前者が安永7(1778)年、後者が寛政3(1791)年という古いもの。鴨場池には幾筋かの引堀(細い堀)を設け、小覗からの鴨の様子をうかがいながら、ヒエやアワなどのエサとおとりのアヒルで引堀におびきよせ、網をみて小土手から竈や網で捕るという猟を行っていました。

小覗

引堀

三百年の松

今から約300年前六代将軍家宣が、庭園を大改修したとき、その偉業をたたえて植えられたと言われている松。太い枝が低く張り出し、いまなお堂々たる姿を誇っています。

お 花 畑
5月30日 コスモスの種をまきました。
The field here was sown with cosmos, on May 30th.
この区画では、キバナコスモスが7月中旬に開花の予定です。

東京タワーを望む

濱
見
世
浜離宮恩賜庭園

物流の拠点

東京港は、昔から「江戸湊」とよばれ、全国から生活に必要な物資が運ばれる海運の拠点でした。

1960年代以降、コンテナ輸送革新を積極的に取り入れ、現在では首都圏最大の海上輸送の拠点として、また、日本を代表する国際貿易港として、生活と産業社会を支える重要な物流の拠点となっています。

国際物流

東京港は、コンテナ輸送に積極的に取り組み、日本を代表する国際貿易港に発展し、現在は、大井、青海、品川各コンテナふ頭が、世界の主要港とネットワークによって結ばれています。

大井コンテナふ頭

青海コンテナふ頭

国内物流

北は北海道、南は四国、九州、沖縄と定期航路で結ばれ、フェリーやRoRo船などにより、国内貨物の物流を支えています。

RoRo船

フェリー

豆しき 赤いキリン？ガントリークレーン！

コンテナふ頭には、赤いキリンのような形をした大きなガントリークレーンがあります。

2分間に1個の割合で、コンテナを積みおろすことができる大変力持ちの荷役機械です。

ここで1人で操作しています

豆しき コンテナ船はいろんな物を運ぶ！

世界的に決められた大きさの箱（コンテナ）に、色々なものを入れて運んでいます。

頑丈にできていて、中のものを守ります。

コンテナ輸送の利点

- 大口貨物は途中で積み替えることなく、コンテナに入れたまま、荷主まで届けられます。
- 荷作りが簡単で荷物がいたむことが少なくなります。
- 機械化によって、荷役時間が大幅に短縮されます。
- 船の大型化が可能で、大量に輸送することができます。

冷凍・冷蔵コンテナ（リーファーコンテナ）

ドライコンテナ

豆しき 港をめぐる船

東京港には、気軽に乗って楽しめる船がたくさん行きかっています。

日の出桟橋やお台場、竹芝、品川からは、海上バスが東京港の海の足として、また、レストランシップや納涼船が、食事やパーティをする観光船として運航しています。

海上バス

レストランシップ

豆しき 島へ出発！竹芝客船ターミナル

竹芝ふ頭は、伊豆・小笠原諸島航路の玄関口として、定期船の発着地となっています。竹芝から出航のジェットフォイルは、時速80kmで大島へは約2時間で到着します。

ジェットフォイル

晴海客船ターミナル

晴海ふ頭には、多くの外航客船が寄港しています。東京港開港50周年を記念して、平成3年に建設され、乗降客のみならず、都民の憩いの場となっています。

うるおいある港

東京にとって貴重な空間である東京港は、物流拠点としてだけでなく、人々に潤いや憩いをもたらす環境として、物流・交流・環境・安全の4つの機能が融合したバランスの取れた開発が進められています。

東京港に森を作る！～海の森～

「海の森」は、ゴミと残土の埋立地を緑あふれる森に生まれ変わらせ、水と緑の回廊に包まれた美しいまち東京の実現を目指しています。この事業の中で幅広い都民が世代を越えて森づくりに参加し、自然環境の再生を通じて環境や自然、社会とのかかわりを学んでいきます。

38カ所！の海上公園

東京港では自然環境の回復と保全を図り、港内全域にわたって港の景観や水や緑と親しめる公園の整備を進めています。

現在、スポーツ、釣り、水辺の野鳥観察などレクリエーションのできる公園が38か所も開園しています。

お台場海浜公園▶
葛西海浜公園▼

◀城南島海浜公園（バーベキュー）

▲若洲海浜公園（釣り）

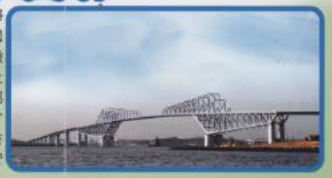
大井中央海浜公園▼（ドッグラン）

新海面処分場

新海面処分場は、東京港内に確保できる最後の処分場であることから、1日でも長く使用できるよう努めています。

東京ゲートブリッジ

臨海部の激しい交通渋滞を緩和し、物流の円滑化を図るため平成24年2月に一般道として開通しました。橋上の都心側には歩道があり、都心や東京港の絶景を一望することができます。長さ2,618m、海面から道路までの高さ54.6m。



「新東京丸」運航ルート
海底トンネル
東京国際空港(羽田空港)
10 新海面処分場埋立地（廃棄物処分場）
中央防波堤外側埋立地
11 東京ゲートブリッジ
9 中央防波堤外側コンテナふ頭
(建設中)
城南島海浜公園
若洲海浜公園
C
D
12 海の森
中央防波堤内側埋立地
臨海トンネル
木材ふ頭
第二航路海底トンネル
12号地貯木場
7 青海コンテナふ頭
13 フェリーふ頭
6 大井コンテナふ頭
10号地その1
有明客船
ターミナル
14 お台場ライナーふ頭
10号地その2
青海客船ターミナル
E
東京ビッグサイト
8 新客船ふ頭(建設中)
15 臨海副都心
B 潮風公園
東京港トンネル
A お台場海浜公園
豊洲新市場
4 レインボーブリッジ
5 品川ふ頭
16 晴海ふ頭
F
3 芝浦ふ頭
月島ふ頭
2 日の出ふ頭
1 竹芝ふ頭
竹芝小型船
ターミナル

青少年対策第二地区委員会

平成29年度管外視察研修案内

青少年対策第二地区委員会本部
平成29年9月14日

初秋の候

平成29年度青少年第二地区委員会の視察研修を、下記のとおり企画致しましたので多くの皆さまの参加をお待ちしております。

東京湾の重要な役割を「視察船　新東京丸」に乗船して見学・研修します。

乗船の前には、お台場の日本科学未来館の見学と昼食をして頂きます。

実　　施　：　平成29年9月20日(水)
集合時間　：　午前8時50分
集合出発　：　　同上　(参加予定者確認後)
集合場所　：　南街公民館
見学場所　：　①日本科学未来館
②東京湾
「視察船　新東京丸」
大井ふ頭・廃棄物処分場・東京ゲートブリッジ・海の森予定地等

★★★タイムスケジュール★★★

8:50　南街公民館集合・出発
10:30　日本科学未来館到着(入館料490円有)
自由見学　休憩・昼食
12:30　出発
12:45　竹芝到着　→乗船
13:30　「新東京丸」　出港
15:30　竹芝出発
16:45　南街市民センター到着

案内コース

＊東大和市役所より40名乗りの
大型バスを貸し切ります。
＊視察船　新東京丸も貸し切りです。